



令和6年9月30日発表

北陸経済調査

〔管内経済の概況〕

北陸財務局管内(石川県、富山県、福井県)の最近の経済動向をみると、令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、持ち直しつつある。

※前回8月判断を据置き(令和6年8月以降、2か月連続の据置き)

(総括判断のポイント)

個人消費は、地震の影響は残るものの、ドラッグストア販売が拡大しており、百貨店・スーパー販売が持ち直しているほか、温泉地や観光地でも客数の回復が進んでいることなどから、「持ち直している」。生産は、地震後の復旧が進んでいることなどから、「持ち直しつつある」。雇用情勢は、地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、「緩やかに持ち直している」。

【先行き】

○ 復旧・復興の動きに加え、各種政策や北陸新幹線敦賀延伸の効果もあって、持ち直していくことが期待されるが、地震や大雨の影響については十分注意する必要がある。

【総括判断】

項目	令和6年8月	令和6年9月	前回との比較
総括判断	令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、持ち直しつつある。	令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、持ち直しつつある。	→

【主要項目の判断】

項目	令和6年8月	令和6年9月	前回との比較
個人消費	地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、持ち直している。	地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、持ち直している。	→
住宅建設	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。	→
生産	地震後の復旧が進んでいることなどから、持ち直しつつある。	地震後の復旧が進んでいることなどから、持ち直しつつある。	→
雇用情勢	地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。	地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。	→

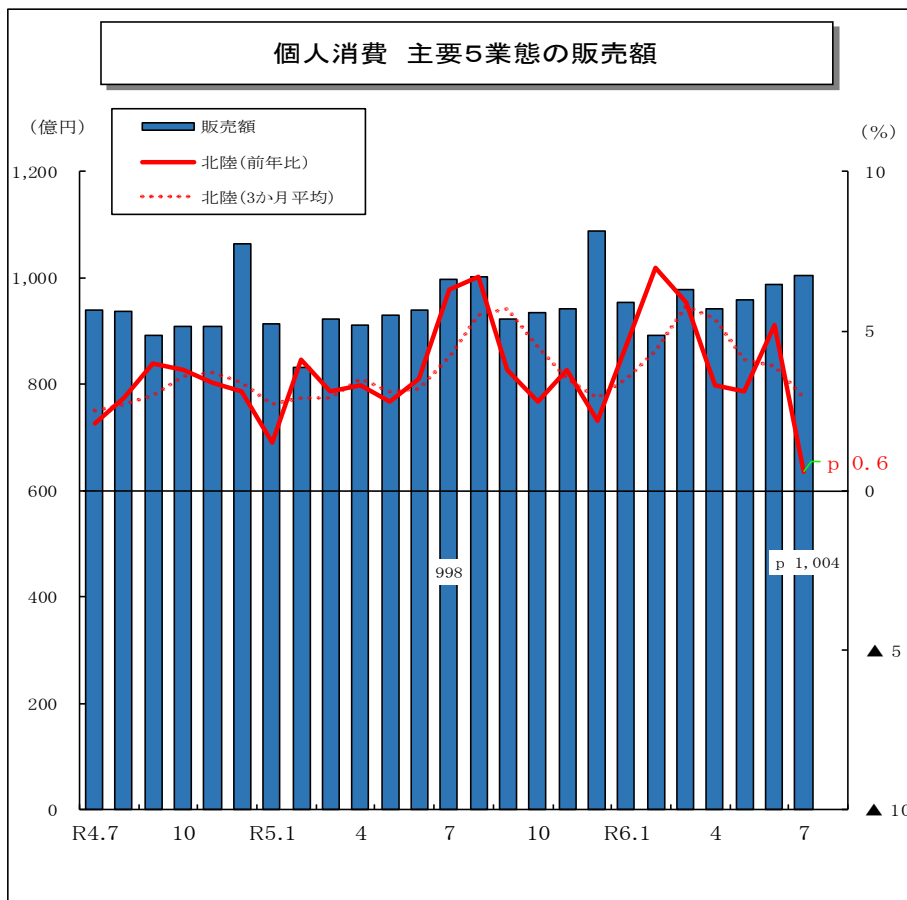
令和6年9月
財務省 北陸財務局

お問合せ先
財務省 北陸財務局 経済調査課
TEL (076) 292-7858

1. 個人消費 … 地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられること などから、持ち直している

※ 前回8月判断を据置き(令和6年5月以降、5か月連続の据置き)

百貨店・スーパー販売やホームセンター販売が持ち直しているほか、温泉地や観光地でも客数の回復が進んでいることなどから、全体では持ち直している。



業態	判断	前回との比較
百貨店・スーパー	持ち直している	➡
コンビニエンスストア	堅調となっている	➡
ドラッグストア	拡大している	➡
ホームセンター	持ち直している	➡
家電大型専門店	持ち直しの動きがみられる	➡
新車販売	緩やかに持ち直しつつある	➡
主要温泉地	前年を下回っている	➡
主要観光地	前年を下回っている	➡

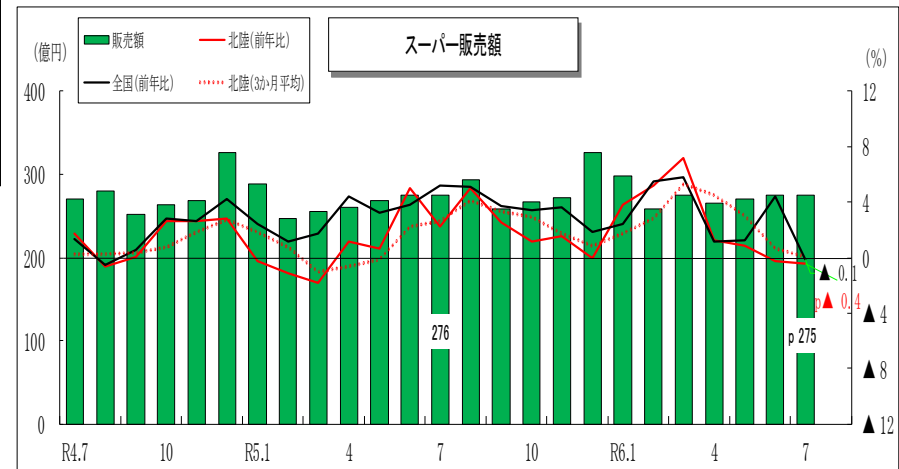
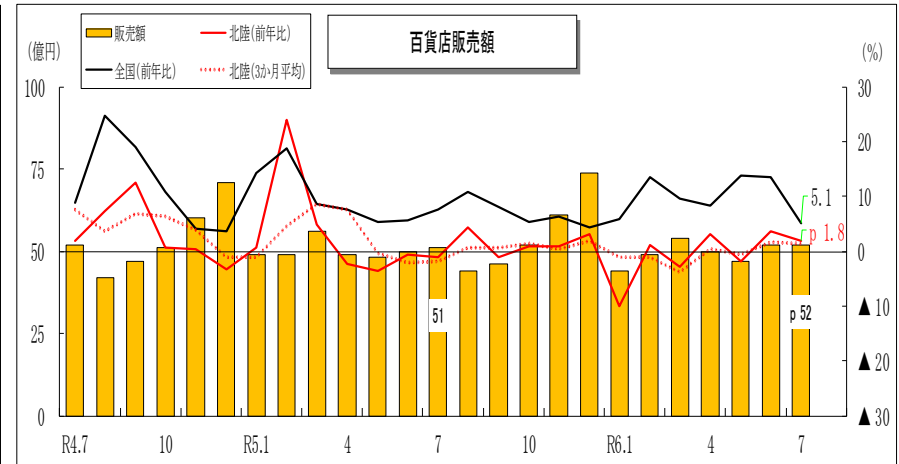
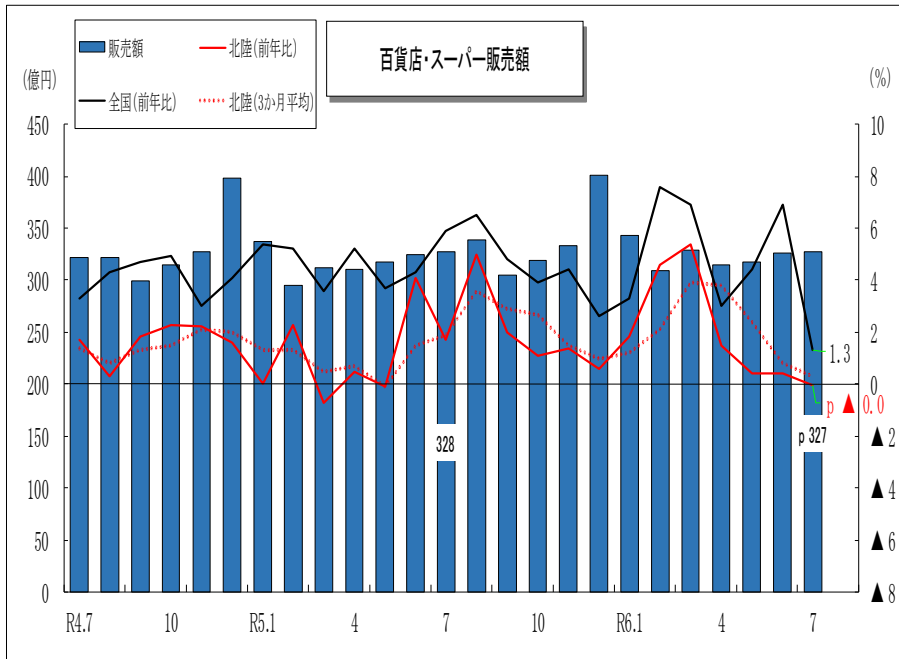
(注1) 主要5業態は、各業態(百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンター、家電大型専門店)の販売額を合計したもの。
(注2) 3か月平均は当局試算。
(資料) 経済産業省、中部経済産業局、北陸財務局

(1) 百貨店・スーパー販売

7月の百貨店・スーパー販売は、

- ・百貨店では飲食料品の動きは鈍いものの、高額品等に動きがみられることから、前年を上回っている。
- ・スーパーでは飲食料品の動きがやや落ち着いていることから、前年並みとなっている。

以上のような状況を踏まえると、持ち直している。 ※前回8月判断を据置き(令和6年5月以降、5か月連続の据置き)



(主なヒアリング結果)
 > 物価高により、惣菜など飲食料品はスーパーやドラッグストアに流れている。他方、引き続き外商を中心に宝飾や時計などの高額品が好調なほか、催事効果もあって客数が増加している。(百貨店)
 > 足下では、残暑の影響で秋物衣料の動きが鈍い。(百貨店)
 > 商品の値上げを受け買上点数が減少しており、節約志向が感じられる。(スーパー)
 > 7月は前年より土日が1日ずつ少なかったものの、新規出店効果もあって前年並みとなった。(スーパー)

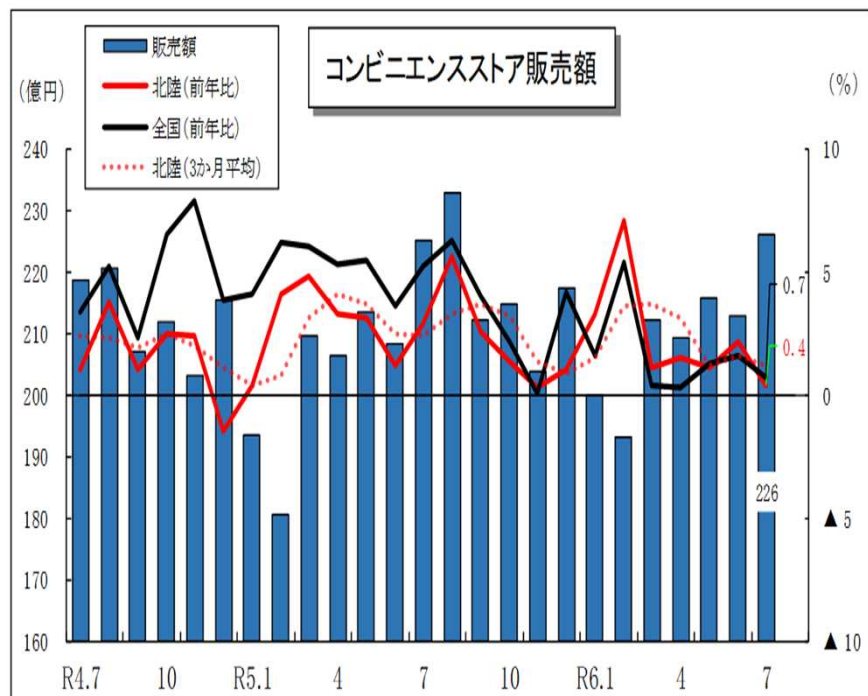
(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局

(2) コンビニエンスストア販売等

①**コンビニエンスストア販売**は、被災地支援者や北陸新幹線の敦賀延伸効果による観光客の来店が続いていることなどから、米飯類や飲料等に動きがみられており、堅調となっている。

※前回8月判断を据置き(令和4年8月以降、26か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

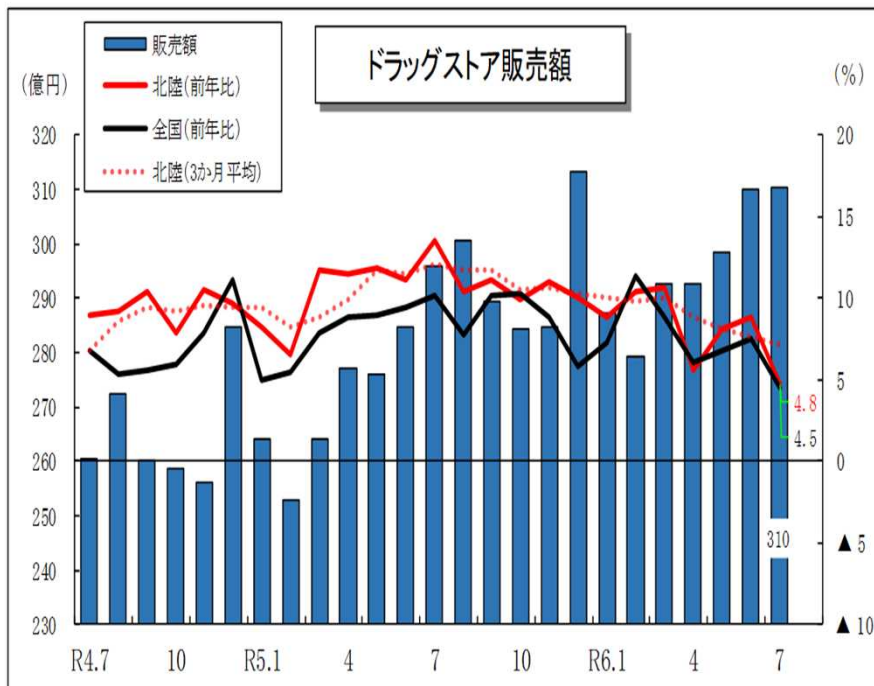
(資料) 経済産業省、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- 北陸新幹線の敦賀延伸効果もあって、引き続き観光客の来店が増加している。また、インバウンドの増加も売上増に寄与している。
- 被災地支援者による食料品等の購入は続いている。
- 足下では、残暑の影響から冷やし麺や飲料が好調に推移している。

②**ドラッグストア販売**は、飲食料品等に動きがみられるほか、新規出店効果もあり、拡大している。

※前回8月判断を据置き(令和5年11月以降、11か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

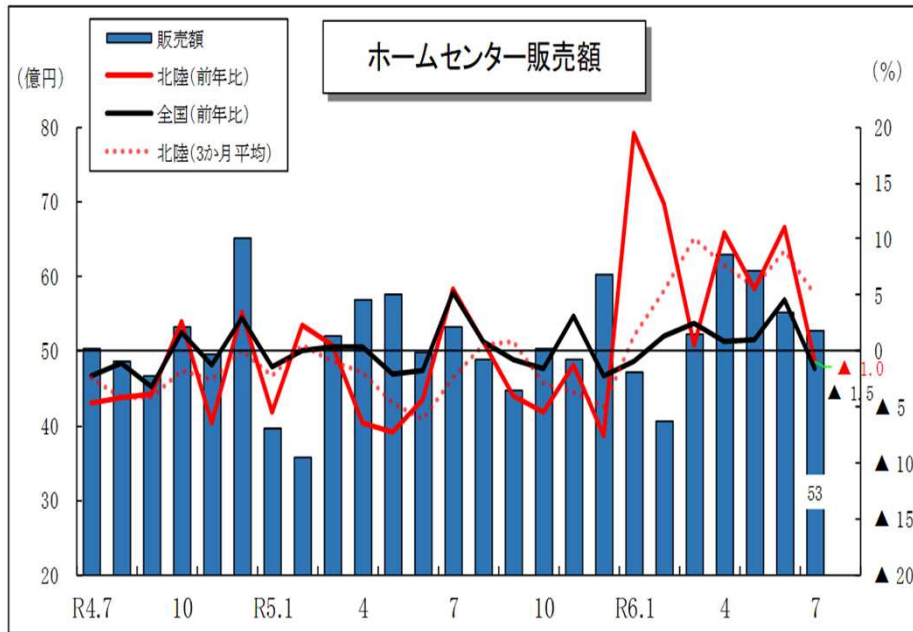
(資料) 経済産業省、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- 引き続き生鮮食品を中心に堅調に推移している。
- 梅雨明けが遅れた影響によりUV商品の動きは鈍かったが、制汗剤や殺虫剤がよく売れた。
- 足下では、残暑の影響からアイスクリームが好調に推移している。

③**ホームセンター販売**は、被災家屋の復旧需要による動きがみられることから、持ち直している。

※前回8月判断を据置き(令和6年7月以降、3か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

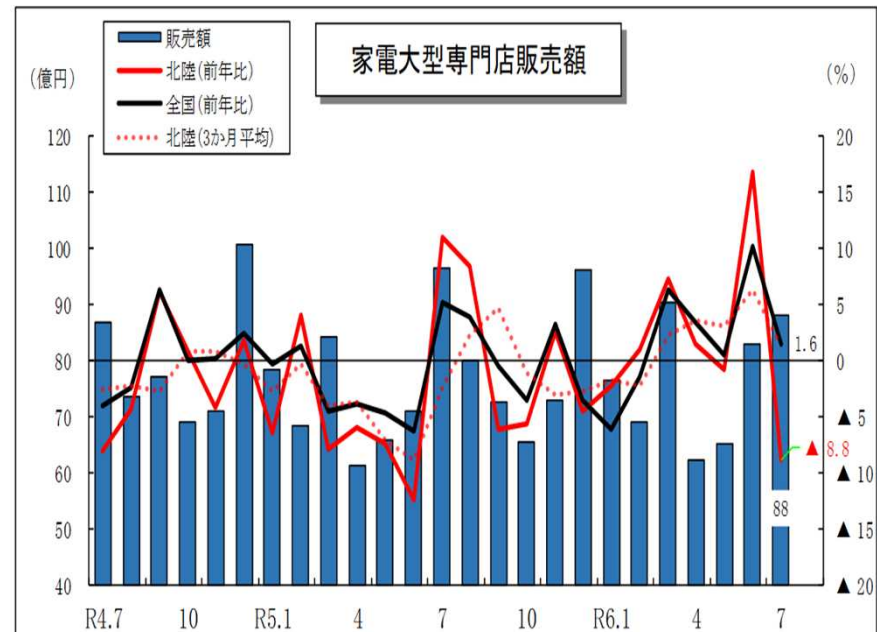
(資料) 経済産業省、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- 引き続き、被災家屋の復旧のための工具・金物がよく売れている。
- 足下では、除草剤や冷感寝具等に動きがみられる。

④**家電大型専門店販売**は、前年の猛暑効果の反動等がみられるものの、足下ではテレビやエアコン等を中心に持ち直しの動きがみられる。

※前回8月判断を据置き(令和6年6月以降、4か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

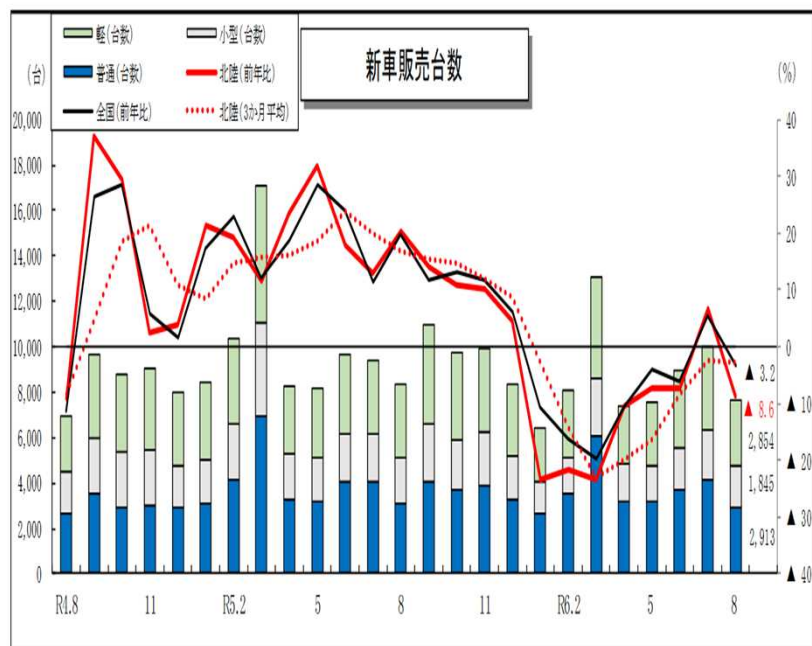
(資料) 経済産業省、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- エアコンは、例年より早い6月に動いたため、7月は動きが鈍かったものの、足下では残暑の影響から堅調となっている。
- 8月は白物家電に加えて、オリンピック需要により大型のTVがよく売れた。

(3) 新車販売

8月の新車販売台数は、前年を下回っているものの、緩やかに持ち直しつつある。 ※前回8月判断を据置き



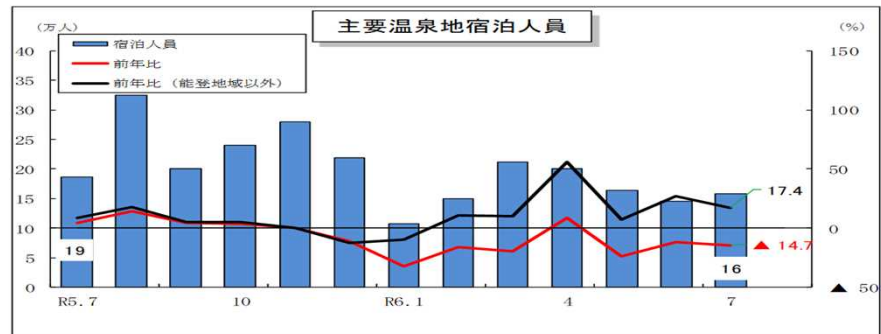
(資料) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

➢ 8月は前年を下回ったものの、出荷停止となった人気車種の出荷・生産が再開されており、今後に期待したい。

(4) 観光・旅行関連

①主要温泉地の宿泊客数(7月)は、前年を下回っている。なお、能登地域以外では、北陸新幹線の敦賀延伸等の効果もあって、前年を上回っている。



(注) R6.1以降の和倉温泉・輪島温泉は未集計。

(資料) 北陸観光協会

(主なヒアリング結果)

➢ 8月後半は台風の影響により多くのキャンセルが発生したものの、夏休み期間は客数は堅調に推移した。(加賀:温泉地)
 ➢ 夏休み期間は前年を上回り、単価も上昇。先行きも、北陸デスティネーションキャンペーンに期待している。(加賀:温泉地)

②主要観光地の入込客数(8月)は、前年を下回っている。

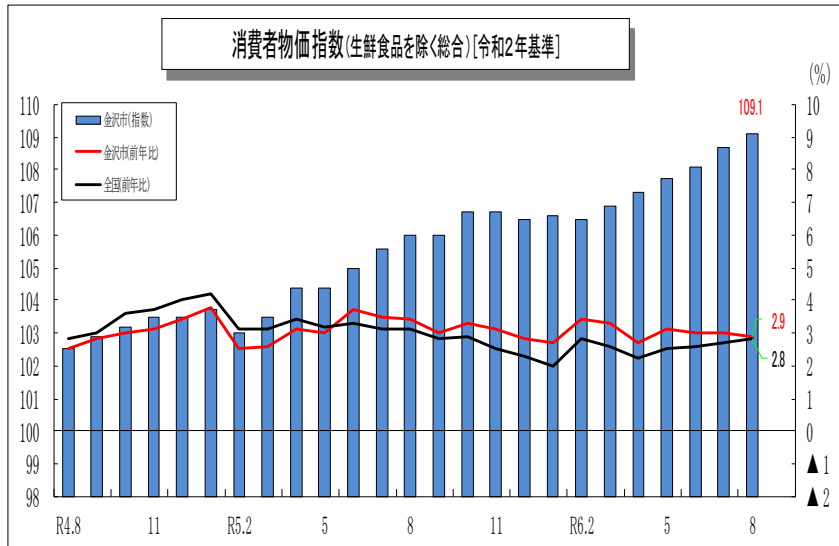
なお、能登地域以外では、北陸新幹線の敦賀延伸の効果もあって、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

➢ 新幹線延伸後初めての夏休みであり、特にお盆期間は家族連れを中心に好調に推移した。(福井:観光地)
 ➢ 8月後半は台風の影響で客数が減少したものの、全体としては天候が良く、多くの観光客が訪れた。(石川:観光地)

(消費者物価)

8月の消費者物価(金沢市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回っている。

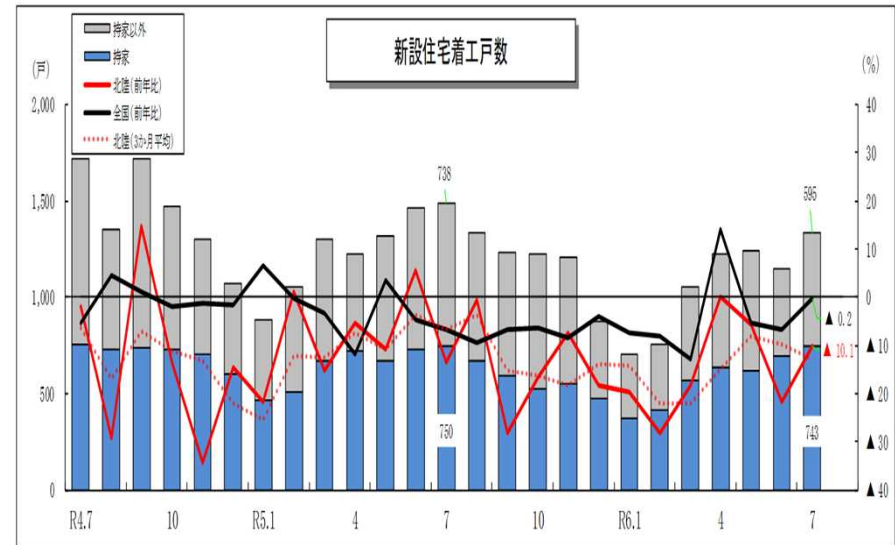


(資料)総務省

2. 住宅建設 … 弱い動きとなっている

7月の新設住宅着工戸数などを踏まえると、弱い動きとなっている。

※前回8月判断を据置き(令和6年3月以降、7か月連続の据置き)



(注)3か月平均は当局試算。

(資料)国土交通省、北陸財務局

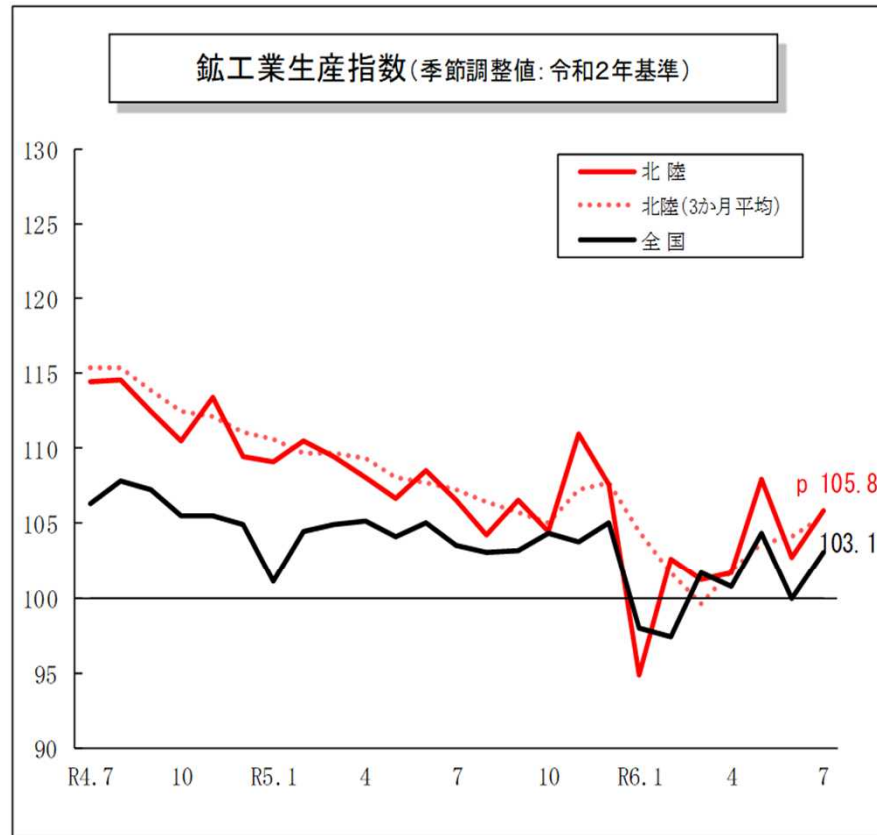
(主なヒアリング結果)

- 住宅規模をコンパクトにして価格を据え置くなど、物価高による低価格志向に合わせた戦略をとっている。
- 震災需要として、建替えや分譲住宅へのニーズも少しずつでてきている。

3. 生産 … 地震後の復旧が進んでいることなどから、持ち直しつつある

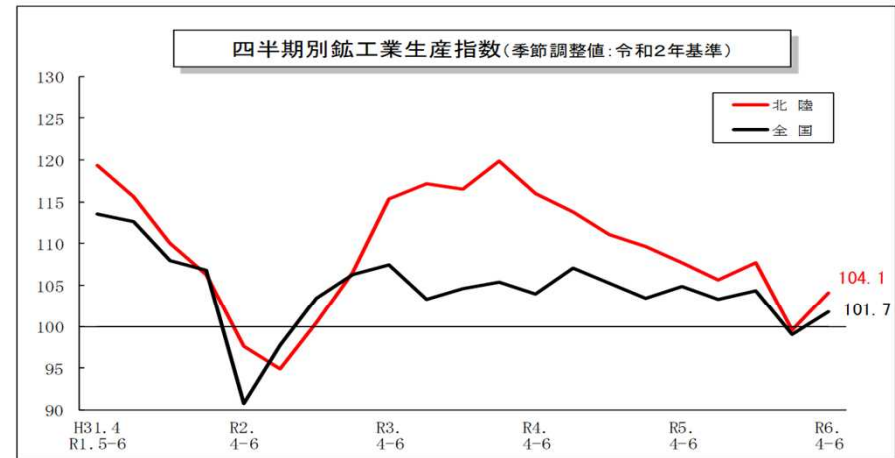
※ 前回8月判断を据置き(令和6年8月以降、2か月連続の据置き)

化学が回復しつつあるほか、電子部品・デバイスや金属製品が下げ止まっていることなどから、全体では持ち直しつつある。



(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局



業種	判断	前回との比較
化学	回復しつつある	➡
電子部品・デバイス	下げ止まっている	➡
生産用機械	一進一退の状況にある	➡
金属製品	下げ止まっている	➡
繊維	緩やかに持ち直しつつある	➡

業種別にみると、

(1) **化学**は、地震後の復旧が進むなか、大宗を占める医薬品で、回復しつつある。

※前回8月判断を据置き(令和6年8月以降、2か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

＞後発医薬品の使用促進策もあって需給がひっ迫しており、生産ラインの増設を行う計画である。
＞秋以降に、新製品の投入や新たな品質管理システムの導入を予定しており、生産能力が高まる見込み。

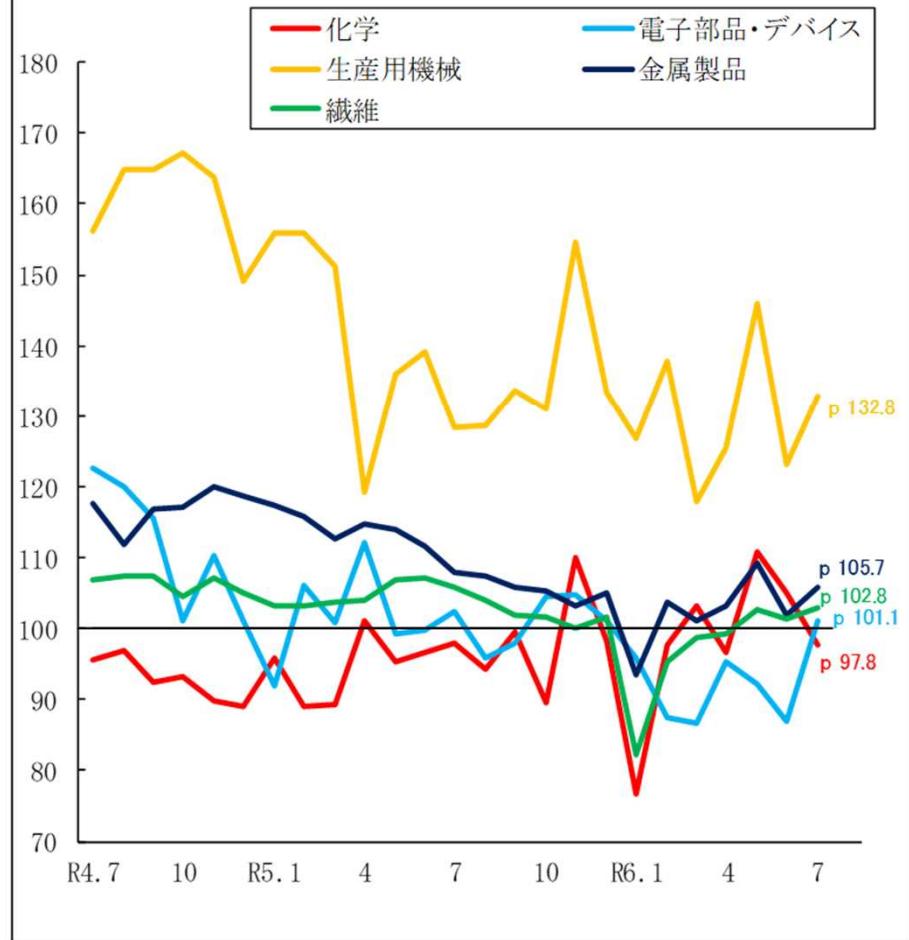
(2) **電子部品・デバイス**は、地震後の復旧が進むなか、家電向けが弱まっているものの、スマートフォン向けが持ち直しつつあるほか、自動車向けが緩やかに持ち直しつつあることなどから、全体では下げ止まっている。

※前回8月判断を据置き(令和6年7月以降、3か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

＞スマホ向けは、ハイエンドモデル向けは堅調なもの、中・低級モデル向けは安価な中国メーカーに受注が流れている。
＞自動車向けは、EVの成長鈍化により、需要が計画を下回っており、伸びが緩やかになっている。
＞家電向けは、低水準で推移しているが、エアコン向けでは中国メーカーで在庫調整緩和の動きがみられる。

主要業種の単月生産指数(季節調整値:令和2年基準)



(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

(3) **生産用機械**は、半導体製造装置が持ち直しているものの、繊維機械が拡大の動きに一服感がみられるほか、金属加工機械が弱含んでいることなどから、全体では一進一退の状況にある。

※前回8月判断を据置き(令和6年6月以降、4か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

- 金属加工機械は、国内・海外とも弱い動きが続いているものの、北米向けは政策金利の利下げも決まり、設備投資の活発化が見込まれることから、先行きに期待したい。
- 繊維機械は、インド向けで、企業の設備投資の動きが戻ってこない。

(4) **金属製品**は、大宗を占めるアルミ建材で、住宅用が弱まっているものの、ビル用に持ち直しの動きがみられることから、全体では下げ止まっている。

※前回8月判断を据置き(令和6年8月以降、2か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

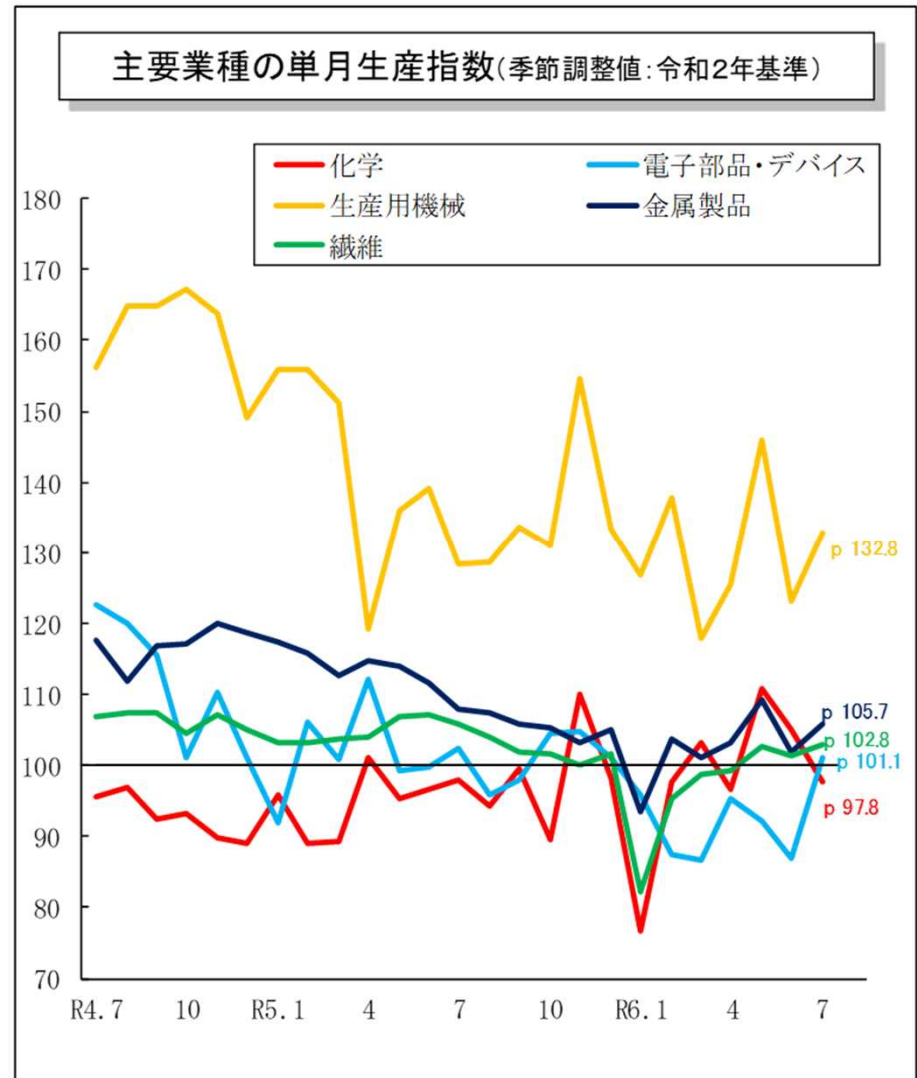
- 新築住宅市場の低迷が続いているものの、補助金効果によりリフォーム需要がみられる。
- ビル用では首都圏を中心に需要があるものの、建設業界の人手不足や資材価格高騰等の影響により工期が先送りにされるケースがある。

(5) **繊維**は、地震後の復旧が進むなか、衣料向けが弱含んでいるものの、非衣料向けが持ち直しつつあることから、全体では緩やかに持ち直しつつある。

※前回8月判断を据置き(令和6年6月以降、4か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

- 欧州で衣料品の消費不振が続いており、先行きも不透明な状況が続いている。
- カーシート向けは、自動車の認証不正問題の影響が一部で見られるものの、全体として大きな影響は無く、堅調に推移している。

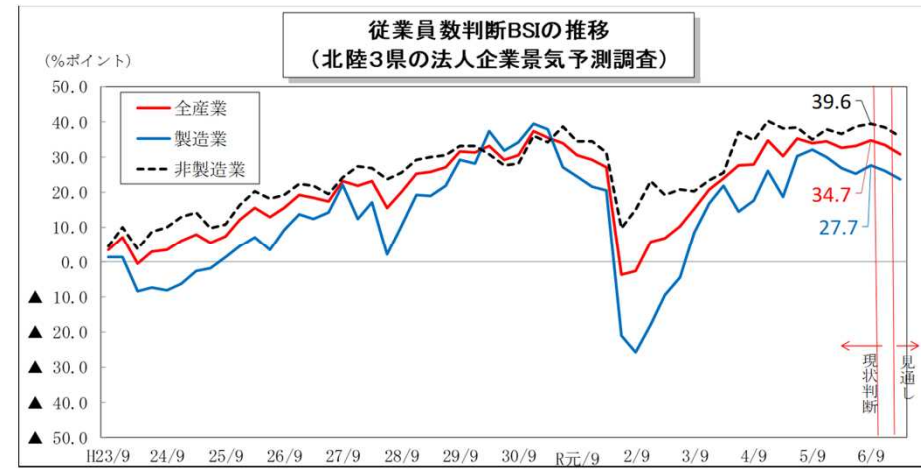
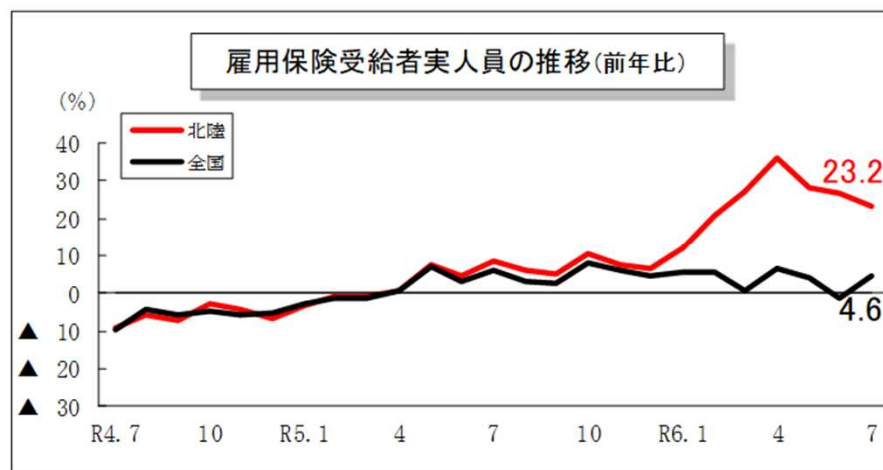
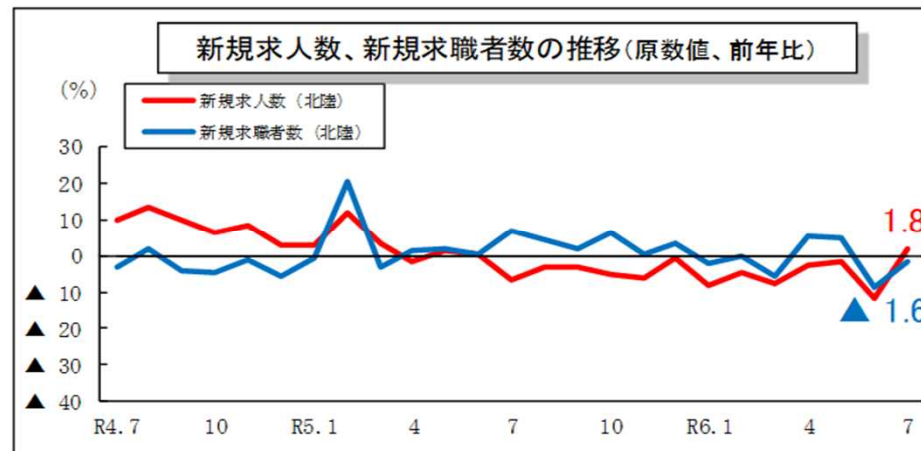
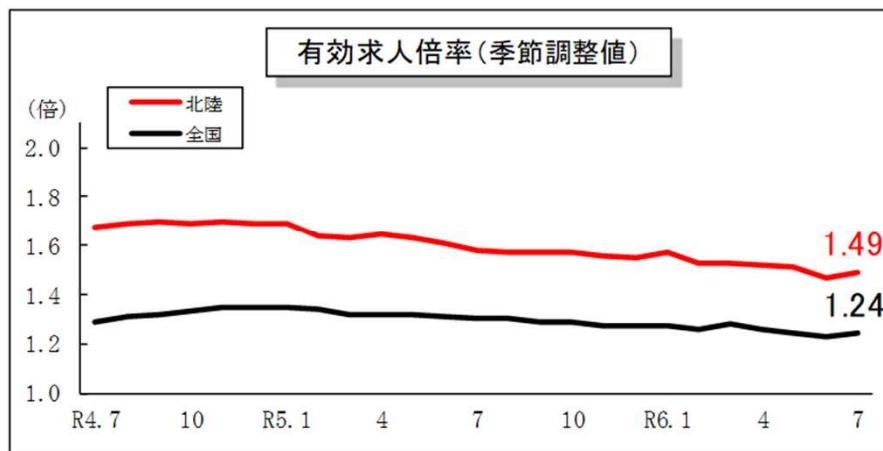


(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

4. 雇用情勢 … 地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している

※前回8月判断を据置き(令和4年7月以降、27か月連続の据置き)

7月の有効求人倍率は、上昇している。
 新規求人数は前年を上回っており、新規求職者数は前年を下回っている。
 雇用保険受給者実人員は、前年を上回っている。



(注1) 従業員数判断BSI = 「不足気味」回答社数構成比 - 「過剰気味」回答社数構成比。

(注2) 最新の現状判断は、令和6年9月末時点。

(資料) 厚生労働省、各県労働局、北陸財務局 10

■主要経済指標 (1)【次ページに注記等あり】

項目			R6年5月	R6年6月	R6年7月	R6年8月	資料出所	備考	
個人消費	百貨店・スーパー販売額	全国	億円 前年比	18,212 4.4	18,675 6.9	18,990 1.3	...	経済産業省	-
		北陸	百万円 前年比	31,836 0.4	32,646 0.4	p 32,744 p ▲0.0	...	中部経済産業局	
	コンビニエンスストア販売額	全国	億円 前年比	10,773 1.3	10,670 1.6	11,482 0.7	...	経済産業省	-
		北陸	百万円 前年比	21,590 1.1	21,285 2.2	22,595 0.4	...	(北陸財務局)	
	ドラッグストア販売額	全国	億円 前年比	7,315 6.8	7,493 7.5	7,793 4.5	...	経済産業省	-
		北陸	百万円 前年比	29,854 8.1	31,000 8.9	31,021 4.8	...	(北陸財務局)	
	ホームセンター販売額	全国	億円 前年比	3,070 1.0	2,888 4.6	2,977 ▲1.5	...	経済産業省	-
		北陸	百万円 前年比	6,080 5.6	5,523 11.0	5,268 ▲1.0	...	(北陸財務局)	
	家電大型専門店販売額	全国	億円 前年比	3,532 0.6	4,037 10.3	4,540 1.6	...	経済産業省	-
		北陸	百万円 前年比	6,534 ▲0.8	8,302 16.9	8,807 ▲8.8	...	(北陸財務局)	
	乗用車新車登録・届出台数	全国	台 前年比	261,047 ▲3.9	311,488 ▲6.1	338,458 5.5	271,247 ▲3.2	(北陸財務局)	・乗用車新車登録・届出台数は、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ。
		北陸	台 前年比	7,571 ▲7.2	8,915 ▲7.4	10,037 6.8	7,612 ▲8.6		
物価	消費者物価指数 (生鮮食品を除く総合)	全国 (R2=100)	指数 前年比	107.5 2.5	107.8 2.6	108.3 2.7	108.7 2.8	総務省	-
		金沢市 (R2=100)	指数 前年比	107.7 3.1	108.1 3.0	108.7 3.0	109.1 2.9		
住宅着工	新設住宅着工戸数	全国	戸 前年比	65,882 ▲5.3	66,285 ▲6.7	68,014 ▲0.2	...	国土交通省	-
		北陸	戸 前年比	1,240 ▲5.8	1,145 ▲21.8	1,338 ▲10.1	...	(北陸財務局)	
生産	鉱工業生産指数 (季節調整値)	全国 (10,000) (R2=100)	(10,000) 前月比	104.4 3.6	100.0 ▲4.2	103.1 3.1	...	経済産業省	-
		北陸 (10,000) (R2=100)	(10,000) 前月比	107.9 6.1	102.7 ▲4.8	p 105.8 p 3.0	...	中部経済産業局	
		化学	(1,540.5) 前月比	110.8 14.7	105.0 ▲5.2	p 97.8 p ▲6.9	...		
		電子部品 ・デバイス	(1,401.6) 前月比	92.3 ▲3.1	87.0 ▲5.7	p 101.1 p 16.2	...		
		生産用機械	(1,233.3) 前月比	146.0 16.3	123.0 ▲15.8	p 132.8 p 8.0	...		
		金属製品	(905.8) 前月比	109.2 5.7	101.8 ▲6.8	p 105.7 p 3.8	...		
		繊維	(579.9) 前月比	102.7 3.4	101.4 ▲1.3	p 102.8 p 1.4	...		

■主要経済指標(2)

	項目			R6年5月	R6年6月	R6年7月	R6年8月	資料出所	備考
雇用	有効求人倍率 (季節調整値)	全国	倍	1.24	1.23	1.24	...	厚生労働省 (北陸財務局)	・有効求人倍率の北陸は、当局において各県の有効求人数、有効求職者数を合算して試算している。
		北陸	倍	1.51	1.47	1.49	...		
	新規求人数(原数値)	北陸	前年比	▲1.8	▲11.6	1.8	...	(北陸財務局)	-
	新規求職者数(原数値)	北陸	前年比	4.8	▲8.8	▲1.6	...	(北陸財務局)	-
	雇用保険受給者実人員	全国	前年比	4.3	▲1.2	4.6	...	厚生労働省 (北陸財務局)	-
北陸		前年比	28.1	26.7	23.2	...			
公共事業	公共工事請負金額	全国	億円	15,901	17,197	15,307	10,706	東日本建設業保証ほか (北陸財務局)	・公共工事請負金額は、東日本建設業保証、西日本建設業保証、北海道建設業信用保証の3社による公共工事前払金保証実績に基づくものである。
			前年比	12.3	▲5.3	10.9	▲3.9		
		北陸	億円	786	511	655	483		
			前年比	20.2	4.8	52.9	33.5		
金融	預 (末残金)	全国	億円	11,527,557	11,519,227	11,503,995	...	日本銀行 信金中央金庫	・預金の金額は表面預金。 ・単位未満は、金額については切捨てで表示している。 ・国内銀行及び信用金庫の合計で、整理回収機構、ゆうちょ銀行を含まない。 ・北陸は、北陸3県内に店舗を置く国内銀行の合計(3県内店舗分)及び北陸3県内に本店を置く信用金庫の合計。 ・国内銀行は、銀行勘定を集計したものの。ただし、オフショア勘定を含まない。また、中央政府向け貸出を除く。
			前年比	2.1	2.4	2.0	...		
		北陸	億円	214,826	219,628	216,636	...	(北陸財務局)	
			前年比	2.5	3.9	2.9	...		
	貸 (末残金)	全国	億円	6,772,670	6,808,392	6,810,943	...	日本銀行 信金中央金庫	
			前年比	4.0	4.3	4.1	...		
北陸		億円	106,319	106,382	106,347	...	(北陸財務局)		
		前年比	0.5	0.8	▲0.0	...			
企業倒産	企業倒産件数	北陸	件	18	14	17	11	㈱東京商工リサーチ	・前年比については切捨てで表示している。
			前年比	80.0	0.0	30.7	▲38.8		
	負債総額	北陸	百万円	1,531	2,193	1,547	764		
			前年比	6.5	72.2	▲14.1	▲67.3		

【注記】

- pは速報値である。季節調整等により、数値が改定される場合があるので、利用にあたっては可能な限り最新号によって下さい。また、資料出所先において、最新の指標や改定値等の公表が行われている場合があるので、利用にあたってはご留意下さい。
- 「北陸」は、断りがない限り、石川、富山、福井の3県である。
- 各県分の資料のみ発表されているものを北陸3県分として集計等している場合は、資料出所欄に「(北陸財務局)」として表示している。
- 金額等の計数及び前年比は、断りがない限り、四捨五入で表示している。